



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月13日

上場会社名 株式会社じもとホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7161 URL <http://www.jimoto-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗野 学
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画部長 (氏名) 芳賀 隆之 (TEL) 022(722)0011
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 特定取引勘定設置の有無 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	23,346	—	2,222	—	2,083	—
24年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 2,858百万円(—%) 24年3月期第3四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	12.62	4.56
24年3月期第3四半期	—	—

(注) 当社は平成24年10月1日設立のため、前年同四半期の計数及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	2,309,034	98,976	4.2
24年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 97,775百万円 24年3月期 一百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

(注) 当社は平成24年10月1日設立のため、前年度の計数は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	1.50	1.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	1,700	—	1,400	—	5.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は平成24年10月1日設立のため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
(詳細は添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無
- (詳細は添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。)
- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	178,867,630株	24年3月期	—株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	746株	24年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	146,147,067株	24年3月期3Q	—株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○ 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

B種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期	—	—	—		
25年3月期 (予想)				0.23	0.23

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

C種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期	—	—	—		
25年3月期 (予想)				0.83	0.83

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

D種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期	—	—	—		
25年3月期 (予想)				0.11	0.11

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(5) 企業結合等関係	7
(参考) 平成25年3月期 第3四半期決算説明資料	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社設立において、企業結合会計上の取得企業を株式会社きらやか銀行（以下、「きらやか銀行」という。）としたため、当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）の連結経営成績は、きらやか銀行の当第3四半期連結累計期間の連結経営成績を基礎に、株式会社仙台銀行（以下、「仙台銀行」という。）の当第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）の連結経営成績を連結したものととなります。

当第3四半期連結累計期間の連結経常収益は、資金運用収益及び役務取引等収益の拡大に努めた結果、233億46百万円となりました。連結経常費用は、物件費を中心とした経費節減に努めた結果、211億23百万円となりました。その結果、連結経常利益は22億22百万円、連結四半期純利益は20億83百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は2兆3,090億円となりました。また、純資産は、金融機能強化法に基づく優先株式の発行を通じた国の資本参加等により、989億円となりました。

主な勘定残高につきましては、貸出金残高は1兆4,526億円となりました。預金残高（譲渡性預金含む）は2兆1,659億円となりました。有価証券残高は7,043億円となりました。

なお、当社グループの中核的企業である子銀行のうち、きらやか銀行単体の当四半期末における貸出金残高は前事業年度末比181億円減少し9,084億円、預金残高（譲渡性預金含む）は、前事業年度末比805億円増加し1兆2,550億円となりました。仙台銀行単体の当四半期末における貸出金残高は前事業年度末比177億円増加し5,345億円、預金残高（譲渡性預金含む）は、前事業年度末比356億円増加し9,153億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における連結経常利益及び連結四半期純利益は、平成24年11月13日に公表しました平成25年3月期の連結業績予想の数値を上回っておりますが、宮城県の営業エリアを中心に、本格化する震災復興需要に積極的に取り組んでいるところであり、それに伴う与信関係費用発生の可能性もあることから、現時点において通期業績予想の修正はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

①連結の範囲の変更

当社設立に伴い、きらやか銀行及び仙台銀行が完全子会社となったことから、両行及びその連結子会社について、当第3四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。

②変更後の連結子会社の数

7社

③持分法適用の範囲の変更

当社設立に伴い、きらやか銀行及び仙台銀行が完全子会社となったことから、その持分法適用関連会社について、当第3四半期連結会計期間から持分法適用の範囲に含めております。

④変更後の持分法適用会社の数

2社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社は平成24年10月1日にきらやか銀行と仙台銀行が経営統合し、共同株式移転により設立した完全親会社であり、採用する会計方針、会計上の見積り等は、従来きらやか銀行と仙台銀行の両行が連結財務諸表作成にあたって採用していたものを引き継いでおります。

なお、経営統合後の平成24年10月1日以降については該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

一部の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)	
資産の部	
現金預け金	88,660
コールローン及び買入手形	34,000
買入金銭債権	876
商品有価証券	21
有価証券	704,308
貸出金	1,452,683
外国為替	976
その他資産	11,067
有形固定資産	25,680
無形固定資産	2,447
繰延税金資産	4,989
支払承諾見返	8,657
貸倒引当金	△25,336
資産の部合計	2,309,034
負債の部	
預金	2,086,772
譲渡性預金	79,144
借入金	11,373
外国為替	17
社債	5,800
その他負債	9,830
賞与引当金	43
退職給付引当金	3,865
利息返還損失引当金	9
睡眠預金払戻損失引当金	257
偶発損失引当金	78
繰延税金負債	1,924
再評価に係る繰延税金負債	2,282
支払承諾	8,657
負債の部合計	2,210,057
純資産の部	
資本金	17,000
資本剰余金	67,138
利益剰余金	8,982
自己株式	△0
株主資本合計	93,120
その他有価証券評価差額金	686
土地再評価差額金	3,968
その他の包括利益累計額合計	4,655
少数株主持分	1,200
純資産の部合計	98,976
負債及び純資産の部合計	2,309,034

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
経常収益	23,346
資金運用収益	18,557
(うち貸出金利息)	15,669
(うち有価証券利息配当金)	2,815
役務取引等収益	2,979
その他業務収益	1,292
その他経常収益	516
経常費用	21,123
資金調達費用	1,649
(うち預金利息)	1,358
役務取引等費用	1,331
その他業務費用	665
営業経費	15,142
その他経常費用	2,335
経常利益	2,222
特別損失	34
固定資産処分損	25
減損損失	9
税金等調整前四半期純利益	2,188
法人税、住民税及び事業税	108
法人税等調整額	△34
法人税等合計	74
少数株主損益調整前四半期純利益	2,113
少数株主利益	29
四半期純利益	2,083

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	
少数株主損益調整前四半期純利益	2,113
その他の包括利益	745
その他有価証券評価差額金	745
四半期包括利益	2,858
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	2,846
少数株主に係る四半期包括利益	12

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高(百万円)	17,700	22,986	7,602	△1	48,286
当第3四半期連結会計期間末までの変動額(累計)					
株式移転による増減	△15,700	49,231	—	—	33,531
新株の発行(注)1	15,000	15,000	—	—	30,000
剰余金の配当	—	—	△712	—	△712
四半期純利益(累計)	—	—	2,083	—	2,083
自己株式の取得(注)2	—	—	—	△20,077	△20,077
自己株式の処分	—	0	—	0	0
自己株式の消却(注)3	—	△20,079	—	20,079	—
土地再評価差額金の取崩	—	—	8	—	8
当第3四半期連結会計期間末までの変動額(累計)合計	△700	44,152	1,380	1	44,833
当第3四半期連結会計期間末残高(百万円)	17,000	67,138	8,982	△0	93,120

(注)1. 平成24年12月28日にC種優先株式20,000百万円及びD種優先株式10,000百万円の発行を行ったことにより、資本金及び資本剰余金が同額増加しております。

(注)2. 平成24年12月28日にA種優先株式20,077百万円、普通株式0百万円の取得を行ったことによります。

(注)3. 平成24年12月28日にA種優先株式20,077百万円、普通株式1百万円の消却を行ったことにより資本剰余金が減少しております。

(5) 企業結合等関係

当社は平成24年10月1日にきらやか銀行と仙台銀行の共同株式移転により設立されました。株式移転の会計処理では、きらやか銀行を取得企業、仙台銀行を被取得企業とする企業結合に係る会計基準に定めるパーチェス法を適用しております。

1. 被取得企業の名称及び事業の内容、企業結合を行った主な理由、企業結合日、企業結合の法的形式、結合後企業の名称、取得した議決権比率及び取得企業を決定するに至った主な根拠

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

仙台銀行 銀行業

(2) 企業結合を行った主な理由

両行は、両行の地域ブランドを維持した持株会社方式による新たな金融グループを創設し、スケールメリットの享受による経営機能の効率化の実現や、両行の営業ネットワーク及び行員の有するノウハウの融合と相乗効果により、県境を超えて進化する地域経済活動への貢献と顧客サービスの向上を果たすために経営統合いたしました。

(3) 企業結合日

平成24年10月1日

(4) 企業結合の法的形式

株式移転による共同持株会社の設立

(5) 結合後企業の名称

株式会社じもとホールディングス（以下、「じもとホールディングス」という。）

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

総体としての株主が占める相対的な議決権比率等を勘案した結果、きらやか銀行を取得企業といたしました。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成24年10月1日から平成24年12月31日

3. 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	じもとホールディングス普通株式	4,769	百万円
	じもとホールディングスB種優先株式	30,000	百万円
取得に直接要した費用	アドバイザー費用等	119	百万円
取得原価		34,889	百万円

4. 株式の種類別の移転比率及びその算定方法並びに交付株式数

(1) 株式の種類別の移転比率

- ①きらやか銀行の普通株式1株に対し、じもとホールディングスの普通株式1株
- ②仙台銀行の普通株式1株に対し、じもとホールディングスの普通株式6.5株
- ③きらやか銀行の第Ⅲ種優先株式1株に対し、じもとホールディングスのA種優先株式1株
- ④仙台銀行の第Ⅰ種優先株式1株に対し、じもとホールディングスのB種優先株式6.5株

(2) 算定方法

複数のフィナンシャル・アドバイザーに第三者算定機関として株式移転比率の算定を依頼し、提出された報告書に基づき当事者間で協議の上、算定しております。

(3) 交付株式数

普通株式	178,867,630株
A種優先株式	100,000,000株
B種優先株式	130,000,000株

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) のれん金額

1,206百万円

(2) 発生原因

取得原価が受け入れた資産及び引き受けた負債に配分された純額を上回ったため、その超過額をのれんとして認識しております。

(3) 償却方法及び償却期間

5年間の均等償却

(参考) 平成25年3月期 第3四半期決算説明資料

1. 損益の状況

(1) じもとホールディングス【連結】

平成25年3月期第3四半期の連結経常収益は233億46百万円、連結経常利益は22億22百万円、四半期純利益は20億83百万円となりました。

平成25年3月期通期の連結業績予想値は、経常利益は17億円、当期純利益は14億円を見込んでおります。なお、平成25年3月期通期の連結業績予想値については、下記(注)3記載に基づくものとなります。

(単位：百万円)

		平成24年12月期 (A)	平成23年12月期 (B)	増減 (A)-(B)
連結経常収益	1	23,346	-	-
連結業務粗利益	2	19,184	-	-
資金利益	3	16,908	-	-
役員取引等利益	4	1,648	-	-
その他業務利益	5	627	-	-
営業経費(△)	6	15,142	-	-
貸倒償却引当費用(△)	7	1,659	-	-
貸出金償却(△)	8	58	-	-
個別貸倒引当金繰入額(△)	9	1,164	-	-
一般貸倒引当金繰入額(△)	10	△ 874	-	-
債権売却損(△)	11	1,274	-	-
信用保証協会責任共有制度負担金(△)	12	36	-	-
その他(△)	13	-	-	-
貸倒引当金戻入益	14	-	-	-
株式等関係損益	15	13	-	-
持分法による投資損益	16	33	-	-
その他損益	17	△ 206	-	-
経常利益	18	2,222	-	-
特別損益	19	△ 34	-	-
税金等調整前四半期純利益	20	2,188	-	-
法人税等合計(△)	21	74	-	-
法人税、住民税及び事業税(△)	22	108	-	-
法人税等調整額(△)	23	△ 34	-	-
少数株主損益調整前四半期純利益	24	2,113	-	-
少数株主損益	25	29	-	-
四半期純利益	26	2,083	-	-

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 連結業務粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役員取引等収益 - 役員取引等費用)
+ (その他業務収益 - その他業務費用)

3. 当社は、平成24年10月1日付で株式会社きらやか銀行(以下、「きらやか銀行」という。)と株式会社仙台銀行(以下、「仙台銀行」という。)の経営統合にともない、両行の共同持株会社として設立されました。設立に際し、きらやか銀行を取得企業として企業結合会計を行っているため、当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)の連結経営成績は、取得企業であるきらやか銀行の当第3四半期連結累計期間の連結経営成績を基礎に、仙台銀行の当第3四半期連結会計期間(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)の連結経営成績を連結したものとなります。

(2) 2行合算

(単位：百万円)

		平成25年3月期 第3四半期 (9か月間) (A)	平成24年3月期 第3四半期 (9か月間) (B)	増減 (A) - (B)	(参考) 前期 平成24年3月期 (12か月間)
経常収益	1	33,071	29,787	3,284	40,545
業務粗利益①	2	25,350	23,560	1,790	31,816
(コア業務粗利益(①-②))	3	24,788	24,626	161	32,972
資金利益	4	22,521	22,824	△303	30,539
役員取引等利益	5	2,016	1,731	284	2,355
その他業務利益	6	812	△996	1,809	△1,078
(うち国債等債券損益)②	7	562	△1,066	1,628	△1,155
経費(除く臨時処理分)(△)	8	19,401	20,077	△675	26,734
人件費(△)	9	9,374	9,414	△39	12,494
物件費(△)	10	9,023	9,652	△628	12,868
税金(△)	11	1,003	1,010	△6	1,371
業務純益(一般貸倒繰入前)③	12	5,948	3,482	2,465	5,082
コア業務純益(③-②)	13	5,386	4,549	837	6,237
一般貸倒引当金繰入額(△)④	14	△631	△639	8	646
業務純益	15	6,579	4,122	2,457	4,435
臨時損益	16	△2,663	△11,469	8,805	△11,051
うち株式等関係損益	17	△510	△5,041	4,531	△4,363
うち不良債権処理額(△)⑤	18	1,999	5,310	△3,310	5,355
うち貸倒引当金戻入益⑥	19	1,904	-	1,904	-
うち償却債権取立益	20	230	99	131	191
うち偶発損失引当金戻入益⑦	21	27	3	23	20
経常利益	22	3,916	△7,346	11,262	△6,615
特別損益	23	△104	△185	81	△479
税引前四半期純利益	24	3,812	△7,531	11,344	△7,095
法人税住民税及び事業税(△)	25	92	△3	95	11
法人税等調整額(△)	26	△85	982	△1,067	861
四半期純利益	27	3,805	△8,511	12,316	△7,968
与信関連費用(④+⑤-⑥-⑦)	28	△563	4,515	△5,078	5,827

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 子銀行単体

①きらやか銀行

平成25年3月期第3四半期の経常収益は、貸出金利息及び役務取引等収益が減少したものの、有価証券利息配当金及び株式等売却益等が増加したことから、前年同期比6億円増加の192億93百万円となりました。
銀行本来の収益力を表すコア業務純益は、資金利益及び役務取引等利益が減少したものの、経費の減少等により、前年同期比1億7百万円増加の40億88百万円となりました。
経常利益は、不良債権処理額の増加等により前年同期比2億97百万円減少の10億22百万円、四半期純利益は、前年同期比4億2百万円減少の10億4百万円となりました。

(単位：百万円)

		平成25年3月期 第3四半期 (9か月間) (A)	平成24年3月期 第3四半期 (9か月間) (B)	増減 (A)-(B)	(参考) 前期 平成24年3月期 (12か月間)
経常収益	1	19,293	18,693	600	25,278
業務粗利益①	2	15,790	14,978	811	20,258
(コア業務粗利益(①-②))	3	15,438	15,767	△329	21,108
資金利益	4	14,181	14,697	△516	19,708
役務取引等利益	5	1,010	1,057	△47	1,382
その他業務利益	6	598	△777	1,375	△832
(うち国債等債券損益)②	7	351	△789	1,140	△850
経費(除く臨時処理分)(△)	8	11,350	11,787	△436	15,645
人件費(△)	9	5,644	5,660	△15	7,542
物件費(△)	10	5,144	5,582	△438	7,382
税金(△)	11	561	544	16	720
業務純益(一般貸倒繰入前)③	12	4,439	3,191	1,248	4,612
コア業務純益(③-②)	13	4,088	3,980	107	5,463
一般貸倒引当金繰入額(△)④	14	△631	△135	△495	△356
業務純益	15	5,071	3,327	1,743	4,969
臨時損益	16	△4,048	△2,007	△2,040	△3,333
うち株式等関係損益	17	△118	△618	499	△466
うち不良債権処理額(△)⑤	18	1,941	483	1,457	1,700
うち貸倒引当金戻入益⑥	19	-	-	-	-
うち償却債権取立益	20	166	77	88	160
経常利益	21	1,022	1,319	△297	1,636
特別損益	22	△14	107	△121	△163
税引前四半期純利益	23	1,008	1,426	△418	1,472
法人税住民税及び事業税(△)	24	75	25	50	32
法人税等調整額(△)	25	△71	△4	△66	△96
四半期純利益	26	1,004	1,406	△402	1,536
与信関連費用(④+⑤-⑥)	27	1,310	196	1,113	1,191

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 23年12月期における与信関連費用には、震災による貸倒引当金の戻入益149百万円及び債権売却益1百万円を含んでおります。

3. 24年3月期における与信関連費用には、震災による貸倒引当金の戻入益153百万円を含んでおります。

②仙台銀行

平成25年3月期第3四半期の経常収益は、有価証券利息配当金及び役員取引等収益の増加や貸倒引当金戻入益の計上により、前年同期比26億83百万円増加の137億77百万円となりました。

銀行本来の収益力を表すコア業務純益は、資金利益及び役員取引等利益の増加や経費の減少等により、前年同期比7億29百万円増加の12億98百万円となりました。

経常利益は、前年同期比115億60百万円増加の28億94百万円、四半期純利益は、前年同期比127億18百万円増加の28億1百万円となりました。

(単位：百万円)

		平成25年3月期 第3四半期 (9か月間) (A)	平成24年3月期 第3四半期 (9か月間) (B)	増減 (A)-(B)	(参考) 前期 平成24年3月期 (12か月間)
経常収益	1	13,777	11,093	2,683	15,267
業務粗利益①	2	9,560	8,581	979	11,558
(コア業務粗利益(①-②))	3	9,349	8,858	491	11,863
資金利益	4	8,340	8,127	213	10,830
役員取引等利益	5	1,006	673	332	973
その他業務利益	6	213	△219	433	△245
(うち国債等債券損益)②	7	210	△277	488	△304
経費(除く臨時処理分)(△)	8	8,051	8,290	△238	11,089
人件費(△)	9	3,729	3,754	△24	4,952
物件費(△)	10	3,879	4,069	△190	5,485
税金(△)	11	442	466	△23	651
業務純益(一般貸倒繰入前)③	12	1,508	291	1,217	469
コア業務純益(③-②)	13	1,298	568	729	774
一般貸倒引当金繰入額(△)④	14	-	△503	503	1,003
業務純益	15	1,508	795	713	△533
臨時損益	16	1,385	△9,461	10,846	△7,718
うち株式等関係損益	17	△392	△4,423	4,031	△3,896
うち不良債権処理額(△)⑤	18	58	4,826	△4,768	3,654
うち貸倒引当金戻入益⑥	19	1,904	-	1,904	-
うち償却債権取立益	20	64	21	42	31
うち偶発損失引当金戻入益⑦	21	27	3	23	20
経常利益	22	2,894	△8,666	11,560	△8,251
特別損益	23	△90	△292	202	△315
税引前四半期純利益	24	2,803	△8,958	11,762	△8,567
法人税住民税及び事業税(△)	25	16	△28	45	△21
法人税等調整額(△)	26	△13	986	△1,000	958
四半期純利益	27	2,801	△9,917	12,718	△9,504
与信関連費用(④+⑤-⑥-⑦)	28	△1,873	4,319	△6,192	4,636

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 信用保証協会責任共有制度負担金及び偶発損失引当金繰入額については、平成24年3月期末より「不良債権処理額」に含めております。平成24年3月期第3四半期については、「その他臨時損益」に含めており、その金額は合計で66百万円であります。

2. 金融再生法開示債権の状況

・きらやか銀行の金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の残高）は、平成24年5月にきらやか銀行100%子会社である「きらやかターンアラウンド・パートナーズ㈱」へ貸出債権125億59百万円を移管したこと等から、前年同期比162億21百万円減少の357億67百万円となりました。総与信額に占める割合は、前年同期比1.83ポイント低下の3.86%となりました。

なお、きらやかターンアラウンド・パートナーズ㈱を含む金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の残高）は、前年同期比51億28百万円減少の468億60百万円、総与信額に占める割合は0.69ポイント低下の5.00%となりました。

・仙台銀行の金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の残高）は、前年同期比1億77百万円減少の276億49百万円となりました。総与信額に占める割合は、前年同期比0.39ポイント低下の5.14%となりました。

(1) 2行合算

(単位：百万円)

	24年12月末	24年3月末比	23年12月末比	24年3月末	23年12月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	9,667	△ 1,232	△ 1,476	10,899	11,144
危険債権	48,946	△ 17,640	△ 15,143	66,587	64,090
要管理債権	4,802	325	221	4,477	4,580
(合計)(A)	63,416	△ 18,547	△ 16,398	81,964	79,815
正常債権	1,400,090	18,605	64,868	1,381,485	1,335,222
(総与信額)(B)	1,463,507	57	48,469	1,463,450	1,415,038
総与信額に占める割合(A/B)	4.33%	△ 1.27 ^{ポイント}	△ 1.31 ^{ポイント}	5.60%	5.64%

(2) きらやか銀行

(単位：百万円)

	24年12月末	24年3月末比	23年12月末比	24年3月末	23年12月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,368	△ 766	△ 90	6,135	5,458
危険債権	26,048	△ 14,459	△ 16,419	40,507	42,467
要管理債権	4,350	259	288	4,091	4,062
(合計)(A)	35,767	△ 14,966	△ 16,221	50,734	51,988
正常債権	889,906	△ 2,308	29,464	892,215	860,442
(総与信額)(B)	925,674	△ 17,275	13,242	942,949	912,431
総与信額に占める割合(A/B)	3.86%	△ 1.52 ^{ポイント}	△ 1.83 ^{ポイント}	5.38%	5.69%

(3) きらやか銀行（きらやかターンアラウンド・パートナーズを含む）

(単位：百万円)

	24年12月末	24年3月末比	23年12月末比	24年3月末	23年12月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	11,662	5,527	6,203	6,135	5,458
危険債権	30,847	△ 9,660	△ 11,619	40,507	42,467
要管理債権	4,350	259	288	4,091	4,062
(合計)(A)	46,860	△ 3,873	△ 5,128	50,734	51,988
正常債権	889,906	△ 2,308	29,464	892,215	860,442
(総与信額)(B)	936,767	△ 6,182	24,336	942,949	912,431
総与信額に占める割合(A/B)	5.00%	△ 0.38 ^{ポイント}	△ 0.69 ^{ポイント}	5.38%	5.69%

(4) 仙台銀行

(単位：百万円)

	24年12月末	24年3月末比	23年12月末比	24年3月末	23年12月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,298	△ 465	△ 1,386	4,764	5,685
危険債権	22,898	△ 3,181	1,275	26,079	21,622
要管理債権	451	66	△ 66	385	518
(合計)(A)	27,649	△ 3,580	△ 177	31,230	27,826
正常債権	510,184	20,913	35,403	489,270	474,780
(総与信額)(B)	537,833	17,332	35,226	520,500	502,606
総与信額に占める割合(A/B)	5.14%	△ 0.86 ^{ポイント}	△ 0.39 ^{ポイント}	6.00%	5.53%

3. 時価のある有価証券の評価損益

(注) 仙台銀行が保有する有価証券については、企業結合会計に基づくじもとホールディングス連結会計上の簿価と子銀行の簿価が相違するため、じもとホールディングス連結の有価証券評価損益と子銀行の有価証券評価損益の総額の合計は一致いたしません。

(単位：百万円)

		24年12月末					24年3月末			23年12月末		
		評価損益	評価益	評価損	24年3月末比	23年12月末比	評価損益	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
じもとHD (連結)	満期保有目的	227	316	89	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他有価証券	1,162	4,300	3,138	-	-	-	-	-	-	-	-
	株式	379	1,229	849	-	-	-	-	-	-	-	-
	債券	1,888	2,350	461	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	△ 1,106	721	1,827	-	-	-	-	-	-	-	-
2行合算 (単体)	満期保有目的	△ 1,462	856	2,319	531	1,177	△ 1,994	829	2,823	△ 2,640	933	3,574
	その他有価証券	3,782	7,583	3,800	1,386	5,491	2,395	6,647	4,252	△ 1,709	5,912	7,621
	株式	△ 422	869	1,292	△ 499	1,185	76	1,398	1,322	△ 1,608	536	2,144
	債券	5,617	6,052	434	970	736	4,647	4,832	185	4,880	5,116	235
	その他	△ 1,412	660	2,073	915	3,568	△ 2,328	416	2,745	△ 4,981	259	5,241
きらやか 銀行 (単体)	満期保有目的	35	94	59	△ 3	△ 3	38	120	81	38	127	89
	その他有価証券	349	3,320	2,970	498	3,583	△ 149	3,058	3,207	△ 3,234	2,561	5,796
	株式	△ 354	487	841	△ 254	472	△ 99	833	932	△ 826	359	1,186
	債券	1,926	2,237	310	288	187	1,637	1,808	170	1,738	1,942	203
	その他	△ 1,222	595	1,817	464	2,924	△ 1,686	416	2,103	△ 4,146	259	4,406
仙台銀行 (単体)	満期保有目的	△ 1,498	761	2,260	535	1,181	△ 2,033	709	2,742	△ 2,679	805	3,484
	その他有価証券	3,432	4,262	830	888	1,907	2,544	3,589	1,045	1,525	3,350	1,825
	株式	△ 68	382	450	△ 245	713	176	565	389	△ 782	176	958
	債券	3,691	3,815	123	682	549	3,009	3,024	14	3,142	3,174	31
	その他	△ 190	65	255	451	644	△ 641	-	641	△ 835	-	835

(注) 「評価損益」は、「満期保有目的の債券」については貸借対照表計上額と時価の差額を計上し、「その他有価証券」については時価評価しておりますので貸借対照表計上額と取得原価の差額を計上しております。

4. 預金等、預かり資産、貸出金の残高

(1) 預金等の残高

- ・きらやか銀行の預金等の残高は、個人預金を中心に増加したことから、前年同期比588億60百万円増加の1兆2,550億79百万円となりました。
- ・仙台銀行の預金等の残高は、法人預金及び公金預金の増加により、前年同期比348億73百万円増加の9,153億75百万円となりました。

(単位：百万円)

		24年12月末	24年3月末比	23年12月末比	24年3月末	23年12月末
2行合算	預金等	2,170,454	116,256	93,734	2,054,198	2,076,720
	うち個人預金	1,581,238	40,240	28,242	1,540,997	1,552,995
	うち法人預金	406,957	△ 10,502	14,881	417,460	392,076
	うち公金預金	175,193	88,657	50,748	86,535	124,444
きらやか銀行 (単体)	預金等	1,255,079	80,588	58,860	1,174,490	1,196,218
	うち個人預金	939,130	40,721	38,042	898,409	901,087
	うち法人預金	246,565	△ 13,820	6,107	260,386	240,458
	うち公金預金	64,286	55,461	15,018	8,824	49,267
仙台銀行 (単体)	預金等	915,375	35,667	34,873	879,707	880,502
	うち個人預金	642,107	△ 480	△ 9,800	642,588	651,908
	うち法人預金	160,392	3,317	8,774	157,074	151,617
	うち公金預金	110,907	33,196	35,730	77,711	75,177

(注) 預金等には、譲渡性預金を含んでおります。

(2) 預かり資産残高

- ・きらやか銀行の預かり資産残高は、生命保険の増加により、前年同期比82億67百万円増加の1,696億14百万円となりました。
- ・仙台銀行の預かり資産残高は、生命保険の増加により、前年同期比144億62百万円増加の624億24百万円となりました。

(単位：百万円)

		24年12月末	24年3月末比	23年12月末比	24年3月末	23年12月末
2行合算	預かり資産残高	232,038	11,491	22,730	220,547	209,307
	投資信託	49,641	△ 2,200	499	51,842	49,142
	公共債(国債等)	30,273	△ 1,999	△ 33	32,273	30,307
	生命保険	152,122	15,691	22,265	136,431	129,857
きらやか銀行 (単体)	預かり資産残高	169,614	3,716	8,267	165,897	161,346
	投資信託	40,403	△ 2,211	△ 72	42,614	40,475
	公共債(国債等)	8,717	△ 392	△ 962	9,110	9,680
	生命保険	120,493	6,321	9,303	114,172	111,189
仙台銀行 (単体)	預かり資産残高	62,424	7,774	14,462	54,649	47,961
	投資信託	9,238	11	571	9,227	8,666
	公共債(国債等)	21,556	△ 1,606	929	23,162	20,626
	生命保険	31,629	9,370	12,961	22,259	18,667

(3) 貸出金の残高

・きらやか銀行の貸出金の残高は、きらやかターンアラウンド・パートナーズ㈱へ125億59百万円移管したことから、中小企業等貸出残高は減少したものの、シンジケートローンや地方公共団体向けの貸出金残高が増加したこと等により、前年同期比116億72百万円増加の9,084億63百万円となりました。
 ・仙台銀行の貸出金の残高は、震災復旧・復興に係る様々な資金需要に積極的に対応したことなどから、前年同期比357億25百万円増加の5,345億99百万円となりました。

(単位：百万円)

		24年12月末	24年3月末比	23年12月末比	24年3月末	23年12月末
2行合算	貸出金	1,443,062	△ 387	47,397	1,443,449	1,395,664
	中小企業等貸出金残高	1,096,850	△ 33,956	△ 4,737	1,130,806	1,101,587
	うち消費者ローン	380,946	5,548	6,116	375,397	374,829
	中小企業等貸出金比率	76.00 %	△ 2.34 <small>ポイント</small>	△ 2.92 <small>ポイント</small>	78.34 %	78.92 %
きらやか銀行 (単体)	貸出金	908,463	△ 18,130	11,672	926,593	896,790
	中小企業等貸出金残高	722,598	△ 48,364	△ 32,150	770,962	754,748
	うち消費者ローン	237,783	△ 1,796	△ 2,474	239,579	240,257
	中小企業等貸出金比率	79.54 %	△ 3.66 <small>ポイント</small>	△ 4.62 <small>ポイント</small>	83.20 %	84.16 %
仙台銀行 (単体)	貸出金	534,599	17,743	35,725	516,856	498,873
	中小企業等貸出金残高	374,252	14,407	27,412	359,844	346,839
	うち消費者ローン	143,162	7,344	8,591	135,817	134,571
	中小企業等貸出金比率	70.00 %	0.38 <small>ポイント</small>	0.48 <small>ポイント</small>	69.62 %	69.52 %